

令和2年4月17日

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部

橋本 泰宏 部長様

一般社団法人 日本自閉症協会 会長 市川 宏伸
一般社団法人 日本自閉症支援者協会 会長 松上 利男
強度行動障害医療研究会 呼びかけ人代表 市川 宏伸

新型コロナウイルス感染症に関する要望

厚生労働省におかれては、新型コロナウイルス感染症への対応について国民の生命の安全を守る先頭に立って様々な取り組みをしていただき、感謝申し上げます。

私たちは、障害福祉や医療の現場で、円滑なコミュニケーションが苦手な知的・発達障害者の支援に当たっている者、家族等が所属する団体です。

連日の厚労省の会見や報道等で、感染が確認された後の治療が困難になっている状況をふまえ、私たちは自分たちの現場で対応できることを迅速に進めたいと考えております。

その際に下記の点について貴省において対応をしていただけますと大変助かりますので、どうぞご検討のほど、よろしく願いいたします。

記

- 1 グループホームを含む入所系の重度の障害者が感染した場合、自宅や施設で隔離の上で養生となることが多いと思われるので、その際の支援職員や家族等への防護服の提供、PCR検査の優先、酸素（ボンベ、マスク、モニター）の提供等（*）について、配慮してほしい。（*）状況の変化により現場ニーズの高いものを随時情報提供する。
- 2 重度の知的・発達障害者が人工呼吸器を必要とする状態になって入院をせざるを得ない場合、医療関係者と当事者間のコミュニケーション支援を行う必要性が非常に高くなることから、適切な人材（たとえば、重度訪問介護事業所の職員など。当事者の特性を良く理解している者）の活用について検討してほしい。

以上